

浦安ライオンズクラブ ターナイト 35周年



35周年記念式典を終えて

浦安ライオンズクラブ会長 L 渡辺 清 昭

初夏の風が漂う5月20日、浦安ライオンズクラブ35周年記念式典を開催しました所、浦安市長松崎秀樹様、衆議院議員藺浦健太郎様、多くのご来賓の皆様始めライオンズクラブ国際協会333-C地区ガバナー霜礼次郎ガバナー、キャビネット役員、ブラザークラブの方々、米国エルカミノライオンズクラブの皆様方、公私共お忙しい所ご出席頂き浦安ライオンズクラブを代表しまして心より御礼申し上げます。

時が経つのは早いものです。過ぎ去った35年を思い起こす時、浦安ライオンズクラブは一貫し、“我々は奉仕する”を守り、地域に密着した活動を行ってまいりました。先輩ライオンが培ってきた英知と努力、相互の友情と和を計りながら今後も40周年、50周年に向けて更なる奉仕活動を進めて参る所存であります。

ご来賓の皆様方から頂きましたご祝辞及び、激励のお言葉を胸に秘めメンバー一人一人は元より、クラブが結束し奉仕活動に邁進してまいります。今後とも尚一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



「35周年記念実行委員長のお礼のことば」

浦安ライオンズクラブ35周年記念

実行委員長 L 内田 千 尋

昨年3月、会長L渡辺清昭氏より、35周年記念実行委員長の指名をいただきました。周年行事と言うのは、5年に一度の「一大イベント」であります。

早速、委員会構成の組み立て、委員会ごとの作業内容等の案づくりに取りかかりました。その後、メンバーの皆様方には、大変お忙しいところを何度も何度も会議を開かせていただきました。回を重ねるごとに、素晴らしい案が出来上がってまいりました。その結果メンバーの皆様のご協力のお陰で、4月28日、浦安市文化会館において、市民とのふれあいを目的として行った「ベイ浦安歌謡フェスティバル」、そして5月20日の「浦安ライオンズクラブチャーターナイト35周年記念式典と祝宴」が無事に滞りなく終わる事が出来ました。

これもひとえにメンバー皆様方のご協力のお陰であります。ありがとうございました。

そして特に4月28日の歌謡フェスティバルの当日と、5月20日の35周年記念式典の当日に、メンバー皆様の奥様の特段のご協力をいただきましたこと、重ねて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

実行委員長1人では何も出来ません。メンバー皆様方のご協力があったからこそ、この素晴らしい35周年行事が出来たのであります。

ここに厚く厚くお礼を申し上げます。

誠にありがとうございました。以上、実行委員長としてのお礼のことばと致します。

「市民とのふれあい —ベイ浦安歌謡フェスティバル」開催

Ｌ内田千尋

今年度浦安ライオンズクラブチャーターナイト35周年記念事業の一環として、市民とのふれあいを目的として2007年4月28日（土）、浦安市文化会館大ホールに於いて、「ベイ浦安歌謡フェスティバル」を開催致しました。

初めに、浦安市内から「犯罪のない安全・安心の街」を目指す事業として「市内防犯パトロールカー」の贈呈を行いました。

県警のパトロールカーと同じ白と黒のツートンカラーで、デザインも同じ、屋根の上は赤色灯ではなく青色灯をのせ、車のナンバーはなんと、「110」であり、舞台の下からせり上がりで防犯パトロールカーが少しづつ下から上に見えてくると同時にライトアップをし、上がり終わった時には会場から割れんばかりの拍手が沸きあがり、素晴らしい贈呈式でありました。

次に、歌謡フェスティバルです。皆さん良くご存知の「キム・ヨンジャ」の専属バンドであります「岡宏&クリアトーンズオーケストラ」の演奏により行われました。出場者は市内各種団体の方々、「各地域の自治会・浦安婦人の会連合会・浦安消防団・浦安市役所・浦安警察署・浦安ソフトボール協会」等の中から代表者の方を選出していただき30名の方々が出場されました。

日頃カラオケでできた歌声を、このたびは生バンド演奏をバックに美声を披露していただきました。出場者の皆様は、リズムに乗って気分良く歌っておられ、まるでプロの歌手が歌っているように実に素晴らしい歌声でありました。

来場者は市民の方々約750名が参加され、出場者のプロ顔負けの歌声に、場内拍手、拍手の嵐でありました。そのあとお楽しみ抽選会が行われ、数々の賞品「自転車・ホテルのディナー券・旅行のクーポン券・地元あさりのしぐれ煮・あいランドクッキー・地元魚市場の買い物券」等が贈られました。品物と当選番号の発表のたびに大きな歓声が上がり一喜一憂のひとときでありました。

出場者も来場者も大変充実した一日であり、ご満足いただけたものと思います。

このことにより、浦安ライオンズクラブの存在を広く市民の方々にさらにPR出来たものと確信致しております。



浦安LC・35周年記念事業“万歳”

35周年記念事業委員会

委員長 L 鹿野新一郎

浦安LC35周年記念事業の担当委員会を、渡辺会長、内田実行委員長のもとで務めさせて頂き、クラブメンバーの皆様の御指導と御協力を頂き、記念事業の全てが好評（自己採点？）の裡に遂行することが出来ました。厚く感謝申し上げます。

又、市役所を始め、諸機関・友好団体の皆様方の御協力に心から御礼申し上げます。写真を掲載して記念事業の説明に替えさせていただきます。



市内防犯パトロールカーの贈呈



見事優勝した大塚信治さん



審査委員長・高梨喜好さんと松崎市長

歌謡フェスティバル



松崎市長へパトカーキーの贈呈



岡宏&クリアートーンズオーケストラの皆さん

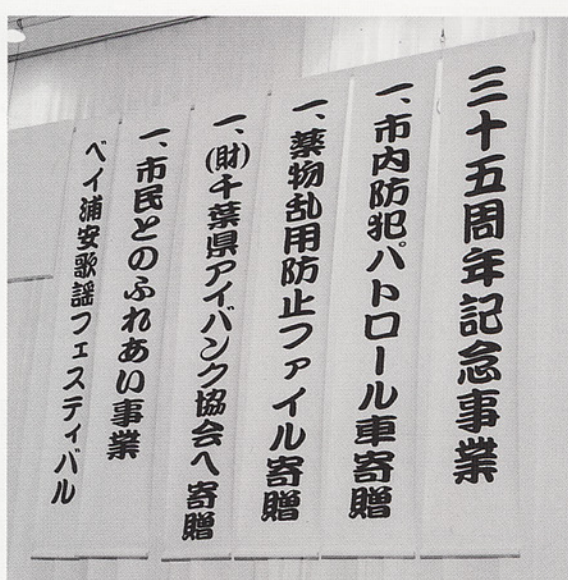
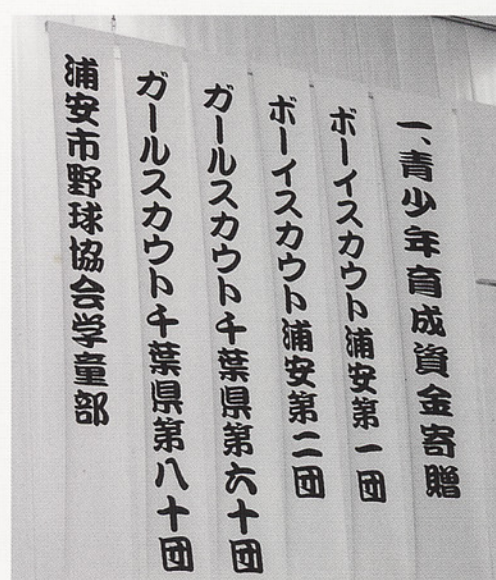


フェスティバルに花を添えたライオンレディの皆さん



大活躍のライオンズメンバー

記念式典



舞台の左右に掲げられた記念事業の数々



ひときわ輝いて人々の注目を浴びた防犯パトカー

— 7 —



すばらしい雰囲気の会場風景



司会進行の大役も笑顔で大成功！



浦安市ソフトボール協会の皆さん「年下の男の子」を熱唱



ラッキーカードは大いに盛りあげられました



閉会のことは丸茂しが締めました

— 8 —

EL CAMINO LIONS CLUB について

333-C地区元地区ガバナー
L 内田 千 尋

最近のメンバーの方々には、馴染みの薄いことだと思います。そこでエルカミノライオンズクラブのことに触れてみたいと思います。

エルカミノライオンズクラブは、米国カリフォルニア州ガーディナー市にあり、今年度チャーターナイト30周年を迎えたのであります。

メンバー構成は日系の二世の方々で形成されております。現在メンバー数34名で、そのうち日系の方々は27名であります。

姉妹提携を結んだのは、1980年でエルカミノLC（米国4L-3）と333-C地区1リジョン1ゾーン（市川LC・市川東LC・下総中山LC・市川北LC・浦安LC・行徳LC）であります。

それ以前から、浦安LCはエルカミノLCと交流がありました。またエルカミノLCは柏LC、市川LC、市川東LCとも交流がありました。

日系二世の方々は、主に広島県・山口県の方々が多く、北海道の方もおりました。日系二世の方々ですので、子供の頃から日本語を勉強し、特にご両親から教えてもらったとのこと。

アメリカに住んでおりますが、私達が交流をして感じたことは、日本的で義理人情のある方々であるということです。

私の場合、浦安LC15代会長の時にエルカミノLCが10周年記念で、その時初めてエルカミノLCを訪問しました。

ロスアンゼルス空港まで迎えに来て下さり、まるで親兄弟等の身内が日本から来てくれたのだと言う様な、心からの歓迎を受けました。

それからと言うものは、毎年行われるライオンズクラブの国際大会に参加致しております。エルカミノLCの方々も毎年参加しておりますので、1年ぶりに逢い、お互いの健康を確かめ合い、食事会を開き、積もる話に花が咲き、交流を深め今日まで続いております。

エルカミノLCの事業の中で、特に私の頭の中に強く残っている事があります。それは、

－ 9 －

ロスアンゼルス郊外の癌や難病の患者さんの入院している「シティー・オブ・ホープ」という病院に、患者さんを慰める「安らぎと憩いの場」になるように日本庭園を作ろうということになり、それは日本のLCにも波及しました。

特に浦安LCは特段の協力をし、2年の歳月を費やして1991年3月に完成した事です。

また、お互いの5年毎の周年行事が同じ年度であります。

浦安LC15周年・・・エルカミノLC10周年

〳 20周年・・・ 〳 15周年

〳 25周年・・・ 〳 20周年

〳 30周年・・・ 〳 25周年

今年度、浦安LCが35周年でエルカミノLCが30周年であります。

エルカミノLCも浦安LCもメンバーの方々は、高齢化してきており、またお互いのクラブに天国に往ってしまったメンバーもあり、寂しくなっているのが現状であります。

3月10日のエルカミノLCの式典において、浦安LCのL篠原一彦、故L醍醐善三郎、L内田千尋がエルカミノLCの名誉会員に推薦されました。

浦安LCのメンバーでは、L古河守男、L丸茂陽一、L佐久間清と故L西野茂夫人の西野登喜子さん、計7名が名誉会員ということであります。

それから、市川東LCのL笹本瞭と笹本久子夫人は今まで名誉会員でありましたが、今期正会員になりました。

又、市川LCのL吉原稔貴、浦安シーサイドLCのRABINDER MALIK 両氏もエルカミノLCと交流しております。

私共浦安LCは、25年前にエルカミノLCのご指導を頂き現在も続けている事があります。それは事業資金獲得の方法で、2つのご指導を頂きました。

その1つは、地元のローカル新聞の1ページを買い取って、そこに各企業の広告の注文をとり載せること。

2つ目は、広く市民の方々に呼び掛けてチャリティーゴルフを行うことでした。

浦安LC第11代故L西野茂会長の時に初めて行い、それから今期で第25回のチャリティーゴルフ大会を行うことが出来ました。

参加者は今迄で、最高100組・400名を超えたこともありました。

333-C地区、129クラブ（メンバー数3600名）の中でも、これほど多くの参加者があるチャリティーゴルフ大会は、我が浦安LCがトップであります。

チャリティーゴルフを行う以前の事業資金獲得の方法は、浦安市の市民まつりの時に、メンバーの皆様其々が、お中元・お歳暮等々で頂いた品物を持ち寄って、バザーを行うこ

－ 10 －

とでした。

納涼会・クリスマスパーティーの時に品物を集めて、オークションも行い資金を獲得しておりました。そして、いつも例会の時に行っているT.Tタイムのドネーションであります。

チャリティーゴルフを行ってからは、333-C地区内全クラブの内、周年行事のあるクラブを除くと、私共浦安LCは労力ACT・金銭ACTとも、どのクラブよりも、平均していつも上位のランクに位置しております。

エルカミノLCからはガバナーが3名出ております。一人目はアメリカの方、二人目は日系二世の方で、ケイ飯塚様 三人目は日系二世の方で、ジョン鶴田様 であります。

日系の方々が、アメリカの土地で必死になって生きている。そしてライオンズクラブに入って頑張っている。

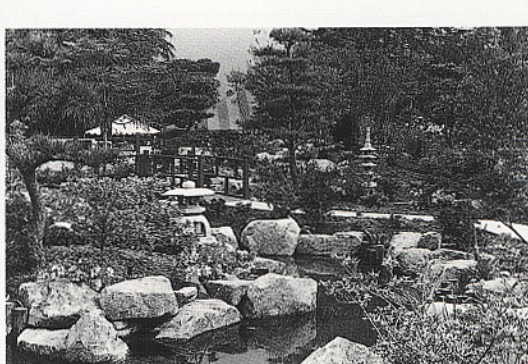
私達日本人が、エルカミノLCへ行くということは、エルカミノLCの日系の方々にとって見ると、日本から同じ血の流れている民族が、アメリカに来てくれる、同胞・同志の日本人に逢える、久しぶりに逢える懐かしさ、嬉しさ、お互いに握手をする、握った手と手を通して気持ちが伝わって来る。

嬉しさ懐かしさが伝わって来る。・・・・・・

そう言ったものが自然に身体に表れていると、私は逢うたびに感じているのであります。お互いに生きている限り、続けていきたいな－と思っております。



メンバー参加写真 1990年7月



シティーオブホープの出来上がり写真